

研究会レポート

防災研究会 (社)日本技術士会北海道支部／ 北海道技術士センター

第Ⅵ期の研究会活動に向けて — 平成17年度総会開催報告 —

この4月27日に開催された防災研究会の平成17年度総会、今年度の主要事業および今期の活動方針について報告します。

当研究会は、会長以下90名におよぶ科学技術者からなる組織で、設立から11年目、日本技術士会最初の防災に関する研究会として、防災に関する進取の活動を継続してきました。

今回の総会では、第Ⅳ期、Ⅴ期の4年間にわたって調査研究を継続してきた「都市型防災」に関して、情報、地盤、交通、都市、水工の5部会から総括的な報告が行われました。

また、10周年記念事業の開催企画や今後の活動方針等について、事務局からの提案が了承され、第Ⅵ期の研究活動がスタートしました。

■ 研究報告の概要

「都市型災害に備えて — いま、都市が危ない —」

今回の総会を契機に発刊した、防災研究会第Ⅴ期研究報告書(CD-ROM添付)のタイトルです。

報告書は、この間の研究成果を都市型防災に向けた技術士からの提案としてまとめたもので、以下は、100頁におよぶ研究報告書の目次の抜粋です。

— 第Ⅴ期研究報告書 目次 (抜粋) —

巻頭言

第1章 いま、都市が危ない

第2章 都市型防災とは

第3章 これからの都市型防災

第4章 技術士からの提言

— 第31回技術士全国大会第4分科会より —

あとがき

第1章から第3章については、5部会が、それぞれの分野について具体的な調査結果や広範な資料収集を行いまとめたものです。また、第4章は、事務局による昨年の全国大会における分科会報告で、都市型防災に向けた技術士の社会貢献のあり方をまとめています。

広く支部、センター会員の皆様に、ご一読いただきたいと考えておりますが、余部に限りがありますので、早急に会のホームページに掲載しますので、そちらをご覧くださいいただければと思います。

■ 10周年記念事業

— 仮称全国防災連絡会議 — の概要

平成17年度の主要な活動として、10周年記念事業の開催企画案について事務局より提案されました。本事業 — 仮称全国防災連絡会議 — は、北海道技術士センター防災研究会設立10周年を記念し、「日本技術士会防災特別委員会」との共催により「地域産官学と技術士との合同セミナー」として開催するもので、全国支部の技術士が札幌に集結して、2005年1月に日本技術士会が発刊したCPD教本「減災と技術 — 災害の教訓を生かす —」を題材に、今後の防災・減災対策に向けた情報交換を行う予定です。



総会会場 (北海道開発土木研究所講堂)

開催日時や場所については、下記のとおり決定しております。また、基調講演には、CPD 教本「減災と技術 — 災害の教訓を生かす —」を監修された独立行政法人消防研究所理事長の室崎益輝氏にご登壇いただけることが決まっています。

プログラムの詳細については、現在調整中です。あらためて、会員の皆様にご案内します。こちらも、是非、ご参加ください。

— 10周年記念事業開催企画案 —

1. テーマ

「都市型防災に備えて—減災と技術を考える—」

2. 日時及び会場

- ・日時 平成 17 年 9 月 16 日(金) 13:00~17:00
- ・場所 ホテル札幌ガーデンパレス

3. プログラム (未定)

- ・開会挨拶 実行委員会委員長
- ・来賓挨拶 日本技術士会会長
- ・基調講演 「減災と技術 — 災害の教訓を生かす —」
消防研究所理事長 室崎 益輝 氏
- ・本部及び支部からの調査研究報告
- ・パネルディスカッション 「減災と技術を考える」

■第VI期研究活動について

第VI期についても、引き続き「都市型防災」を基本テーマに、防災・減災に向けて、新たな課題、新たな手法による研究活動に取り組むことになりました。

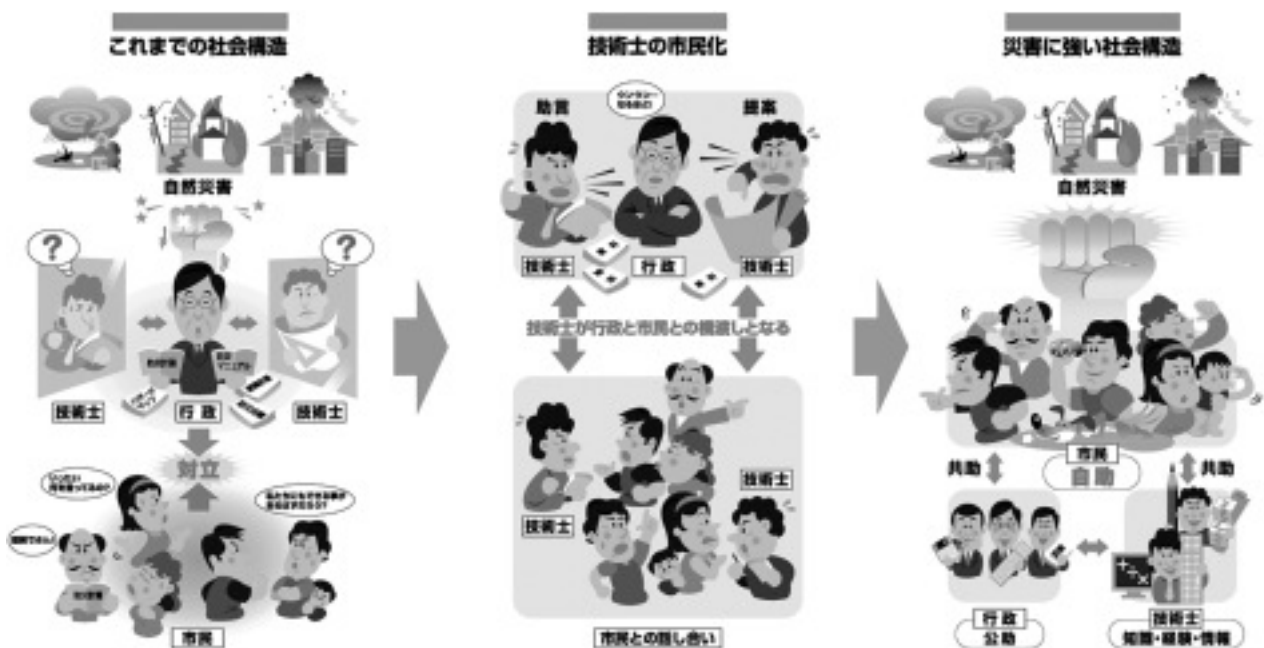
昨年の全国大会第4分科会における「札幌宣言」では、これからの防災・減災対策においては自主防災と地域コミュニティの強化が必要であり、住民と行政、専門家の間のネットワーク構築と適切なコミュニケーションの形成に向けた、技術士の社会貢献(下図)を提案し、採択されています。

そこで、札幌大地震や集中豪雨(豪雪)など具体的な災害を想定し、地域住民とのワークショップや災害図上訓練を実践するなど、技術的なケーススタディとともにフィールドワークについても、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

当面、10周年記念事業までは、これまでの研究成果の取りまとめを継続し、10月以降からこうした新たな活動に移行できればと思っています。

EPOでもご案内しましたが、これを機に、是非、防災研究会に入会して、防災面からの社会貢献に取り組んでみませんか。支部及びセンター会員皆様からのご連絡をお待ちしています。

(文責：防災研究会幹事長 城戸 寛)



防災・減災対策における技術士の社会貢献イメージ図